

宇都宮市立東小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「漢字の読み方や言葉の意味がわからないときには辞書を使っている」「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」などの質問では、市の肯定割合を上回り、分からないことを調べるという習慣が定着しており、学習に関心をもって主体的に学ぼうとしていることが伺える。

○「家で学校の授業の予習をしている」や「自分で考えた勉強をしている」の問いでは市の市の肯定割合を上回っており、家庭学習強化週間等で自主学習が定着していることが伺える。

○「社会の学習が好き」と答えた児童が市の肯定割合を11.2ポイント上回っている。なかでも「歴史上の人物や出来事を扱っているテレビを見たり本を読んだりするのがすきだ」の質問において、市の肯定割合を上回っており、社会の関心が伺える。引き続き興味関心を広げていけるよう取り組んでいきたい。

●「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」という問いにおいて、昨年度20ポイント以上下回っていたが、今年度も下回っているものの5.4ポイントであった。話し合い活動の意義を確認してきたことや、どのように自分の意見を伝えるか指導してきたことが有効であったと考えられる。引き続き指導していきたい。

●学習に対する意欲が、市の平均割合より下回っている質問も多く、授業の内容を児童の興味を引き出させるように工夫するとともに、学びに集中できる環境を整えていきたい。

●「学校のきまりを守っている」の質問では、市の肯定割合を28.1ポイント下回っており、互いによりよい学校生活を送るために、学校のきまりやきまりを守る大切さについて再度確認していきたい。

宇都宮市立東小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
①主体的に取り組む、共に学び、楽しく分かる授業づくり ②思考力・表現力を伸ばし、高める指導の工夫 ③基本的学習態度と基礎・基本の確実な定着	①・協働的に学び合う場を作り生かす指導の充実 ・教師の指導力の向上 ②・言語活動の充実を図る授業づくり ・ねらいの明確な提示や理由を問う発問の工夫 ③・習熟度別学習やT.T授業を生かした個に応じた指導の工夫	・児童質問紙「勉強していておもしろい、楽しいと思うことがある」の肯定的回答状況は、4・5年生共に市の平均を上回っている。また、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」についても、4・5年生共に肯定的回答が市の平均を上回っており、学習に関心をもって主体的に学ぼうとしたり、自分の考えを積極的に発表したりする態度が育っていることが分かる。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査において、「条件に沿って書くこと」に4、5年生ともに課題が見られた。	・条件に沿って作文や短文を書くことができるようになるための指導法の工夫	・国語の時間だけでなく、朝の学習の時間等を使って、条件を提示した短作文を書く機会を増やす。 ・書いた短作文を児童がお互いに見合い、条件に沿った書き方を学ぶ場を設定する。